【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公表番号】特表2005-528527(P2005-528527A)
【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-037
【出願番号】特願2004-510495(P2004-510495)
【国際特許分類】
Ｃ２３Ｃ　26/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　11/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２３Ｃ　26/00　Ｅ
Ｈ０１Ｈ　11/04　Ｆ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成20年9月19日(2008.9.19)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
滑動能を持ち腐蝕の少ない電気的接触面を製造する方法において、次の処理工程：
ａ）滑剤皮膜（３）で処理する接触面（２）を浸漬して湿潤させ、
ｂ）接触面（２）を、レーザー材料加工（４）により短時間溶融し、その際短時間の溶融を通じて滑剤皮膜（３）は殆んど不変のまま、その後に再び固化される接触面（２′）内に侵入することを特徴とする、滑動能を持ち腐蝕の少ない電気的接触面を製造する方法。
【請求項２】
滑剤皮膜（３）が油分散液である、請求項１記載の方法。
【請求項３】
滑剤に添加剤を添加する、請求項１記載の方法。
【請求項４】
レーザーがＮｄ：ＹＡＧレーザーである、請求項１記載の方法。
【請求項５】
レーザーがパルス化されている、請求項４記載の方法。
【請求項６】
レーザー材料加工により担体材料および担体材料上に施こされた接触面からなる電気的接触面を製造するための複合材料において、レーザー材料加工の際のパルスレーザーの光波は、滑剤皮膜３を通り抜け、接触面２を溶融し、この接触面を液化し、この凝集体状態のために滑剤皮膜３が殆んど液状の接触面２内に侵入していることを特徴とする、レーザー材料加工により担体材料および担体材料上に施こされた接触面からなる電気的接触面を製造するための複合材料。
【請求項７】
接触面（２）が錫からなる、請求項６記載の複合材料。
【請求項８】
滑剤皮膜（３）が油分散液である、請求項６または７に記載の複合材料。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０００１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００１】
本発明は、レーザー材料加工により担体材料および担体材料上に施こされた接触面からなる電気的接触面を製造するための複合材料ならびに滑動能を持ち腐蝕の少ない電気的接触面を製造する方法に関する。